

Anritsu Way

「誠と和と意欲」 “Original & High Level”

安全・安心で豊かなグローバル社会の発展に貢献する

アンリツが創業以来大切に育んできた当社らしさは、「誠と和と意欲」、「オリジナル&ハイレベル」という2つの言葉に凝縮されています。

「誠と和と意欲」とは、当社が事業を営む上での姿勢・想い・覚悟といった心の在り様と価値観を示す経営哲学であり、それぞれ

「誠」：お客さまやすべてのステークホルダーからの期待に応える信頼性

「和」：社内外の衆知を集めて事業環境や社会の要請の変化に機敏に対応する適応力

「意欲」：5G、IoTなど最先端の技術を磨き新たな価値を提供する先進性

を意味し、企業価値として歴史的に蓄積してきたものです。

“オリジナル&ハイレベル”は、(1) 商品・サービスが提供する社会価値・顧客価値がすぐれたものであること、(2) そのような成果物を生む企業文化、経営システムや仕事の進め方など、を意味します。すなわち、“オリジナル&ハイレベル”とは、アンリツの企業活動の上流から下流までを貫く企業としての在り様とも言えます。アンリツは、社会と顧客のニーズを汲み取った元祖草分け的な数々の商品を生み出し、社会の発展に貢献してきました。アンリツは、その変革力を活かしてグローバル社会が要請するサステナビリティ課題の解決に挑戦してまいります。

企業理念

経営理念

誠と和と意欲をもって、“オリジナル&ハイレベル”な商品とサービスを提供し、安全・安心で豊かなグローバル社会の発展に貢献する

経営ビジョン

衆知を集めたイノベーションで社会のサステナビリティに貢献し“利益ある持続的成長”を実現する

経営方針

1. 衆知を集めた全員経営でハツラツとした組織へ
2. イノベーションで成長ドライバーの獲得
3. グローバル市場でマーケットリーダーになる
4. 良き企業市民として人と地球にやさしい社会づくりに貢献

ブランドステートメント envision:ensure

「お客さまと夢を共有しビジョンを創りあげるとともに、イノベーションによりお客さまの期待を超える確かなかたちあるものへと創りあげる」これが、envision:ensureに込めたメッセージです。それはまさに、世界初の実用無線電話機、日本初のラジオ放送受信機、テレビジョン放送機などの商品をお客さまの期待に応えながら社会に提供し、技術革新に貢献した当社の歩みそのものです。

そのパイオニア精神は、先人たちが信条として掲げた「我思うゆえに我実現する」の想いから脈々と受け継がれています。アンリツは、未来に向けても変革に挑戦するそのパイオニア精神を継承します。そしてステークホルダーの皆さまとともに、SDGs（詳細下記）をはじめとする社会のサステナビリティ課題を解決することにより、「安全・安心で豊かなグローバル社会」の実現に貢献してまいります。

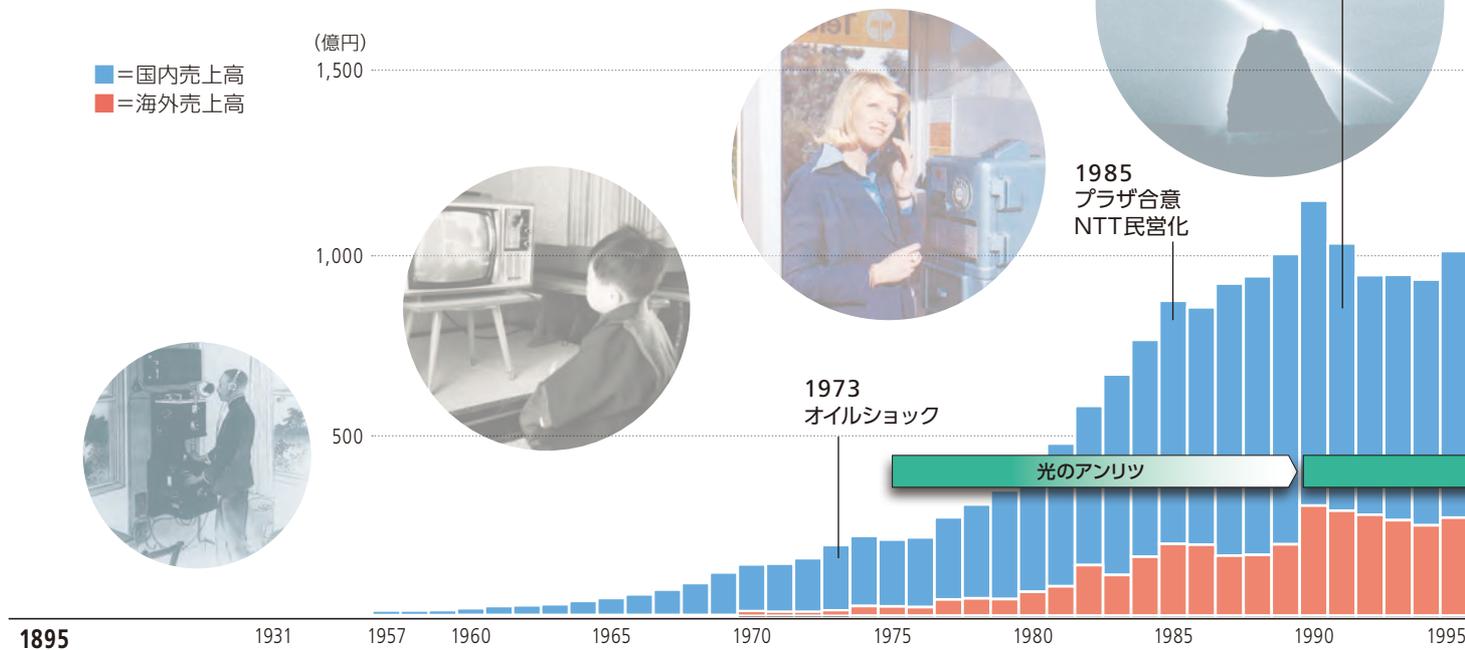
アンリツが目指すサステナビリティ経営



2015年9月の国連サミットにおいて、SDGs（持続可能な開発目標）が全会一致で採択されました。アンリツグループは事業を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

Anritsu Value History

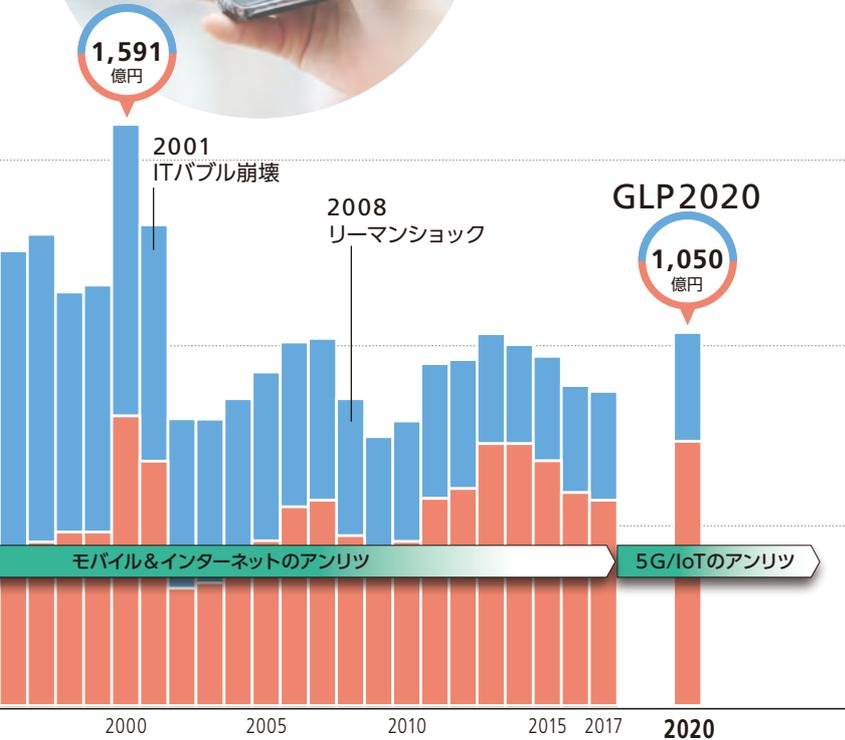
アンリツが「誠と和と意欲」をもって、「オリジナル&ハイレベル」な価値を社会に提供し続けて123年。アンリツグループの企業価値の源泉である創業以来の通信・計測・検査といった技術の蓄積、またその結果生み出されたお客さまからの厚い信頼。これら価値創造の歩みをご紹介します。



黎明期 (1895-1930)	有線・無線の 統合期(1931-1949)	新生安立電気による 再興期 (1950-1962)	多角化による事業 拡大期 (1963-1974)	光のアンリツ (1975-1989)
--------------------	--------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------

日本の情報通信技術の黎明期を担う 関東大震災後の不景気、世界大恐慌、競争激化で経営危機に陥る	共立電気(石杉社)と安中電機製作所の合併で安立電気設立 日中戦争勃発より戦争の時代へ(軍需景気) 終戦とともに民需への転換で企業再建をはかる	企業再建法に基づく第2会社方式で再スタート 日本復興に向けた通信インフラの整備拡充を支える 東京本社オフィスの建設・厚木事業所(現在の本社地)の開設	6事業部体制で事業多角化を推進 日本の高度成長を支える通信インフラ拡大を支える 公衆電話機の輸出事業スタート	AT&Tにマイクロ波回線用測定装置の大量納入でアメリカに事業基盤を構築 光通信網の拡充投資で国内外の光計測事業が拡大 NTT民営化による通信市場の開放で計測市場拡大 公衆電話機の海外事業拡大
---	--	--	--	--

Original & High Level への挑戦				
日本の有線通信の先駆者となる(自動電話機の製造) 世界初の無線電話機の実用化を担う(TYK式無線電話機)	日本初のテレビジョン放送機の開発、製造 磁気録音機(交流バイアス方式)開発	公衆電話機・磁石式交換機の量産 計測事業の先駆けとなるマイクロ波回線用測定器開発 船舶用の無線装置開発	デジタル伝送向けの測定器開発 PQA事業の先駆けとなる重量選別機開発 コンピュータとその周辺機器開発	光通信向け測定器(世界初の光パルス試験器OTDR)開発 カード式公衆電話機



120周年



マルチナショナル企業としての
基盤づくり (1990-2000)

21世紀 グローバルブランド
への道 (2001-)

創業100周年: 21世紀経営ビジョン「グローバルの顧客に、グローバルの技術で、グローバルの企業に」

ウィルトロン社買収による海外における開発・製造・販売拠点の統合と拡大

平成大不況で赤字転落

事業の選択と集中：ノンコア事業の撤退、譲渡を進める

北米ITバブルで史上最高益と大幅赤字転落

経営構造改革(本社機構を厚木市に集中)

モバイル計測分野のグローバル・リーディングカンパニーへ成長

ネットテスト社買収でOSS市場参入

デジタル移動無線用測定器をシリーズ化
高速大容量光デジタル通信市場向けのSONET/SDH/PDH/ATM アナライザ開発
超高速半導体デバイス(MMIC) 開発
光増幅器用励起光源(光デバイス) 開発、外販

世界初のW-CDMA コンフォーマンステストシステム開発
世界最高効率のミリ波帯平面アンテナ開発
世界初の3GPP規格準拠の5Gチップセット・端末検証用テスト開発

適応力

先進性

信頼性

知的資本
120年の知の集積、イノベーション力

人的資本
グローバルな組織と人材

社会・関係資本
リーディングカンパニーとのパートナーシップ

財務資本
市場環境の変化に備えた財務安定性

製造資本
オリジナル&ハイレベルなものづくり

自然資本
バリューチェーン全体で展開する環境経営

価値創造ストーリー

アンリツの企業価値の源泉は、アンリツらしさの「信頼性、適応力、先進性」の根源でもある有形、無形の各資本です。アンリツは、持てる資本を最大限に活用して、社会的課題の解決に応える企業活動を実践してまいります。

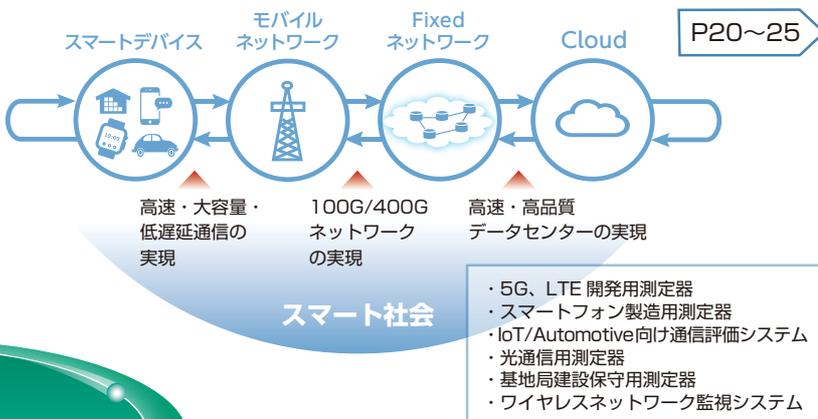


“envision : ensure” は、社会イノベーションへの終わりなき挑戦を表すとともに、価値創造の無限サイクルに取り組む姿勢を表しています。

アウトプット

計測事業

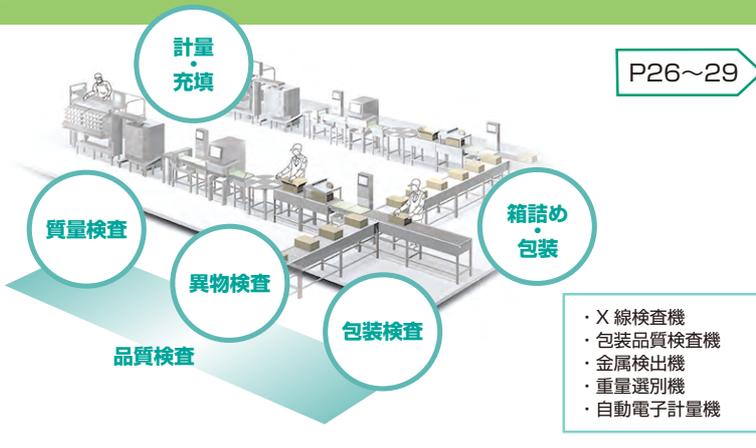
5G/IoT ネットワークを支え、社会イノベーションを牽引する計測ソリューション



ensure

PQA 事業

食品、医薬品の品質を保証するソリューション



提供する社会価値

安全・安心で快適な社会構築への貢献



安全・安心なインフラを整備し、持続可能な社会の建設につながる産業の創造とイノベーションの促進



安全・安心であらゆるものがつながる強靱なネットワークインフラの整備による持続可能な社会の建設



食品や医薬品の品質保証の高度化を通じて、誰もが安全で安心して暮らせる社会、食品ロスのない持続可能な社会の実現



ESG 領域での貢献



多様な人材とともに、個々人が成長し働きがいのある職場づくりに貢献



持続可能な消費と生産の企業活動で持続可能な社会づくりに貢献



すべてのステークホルダーと協働して共有価値の創造に貢献

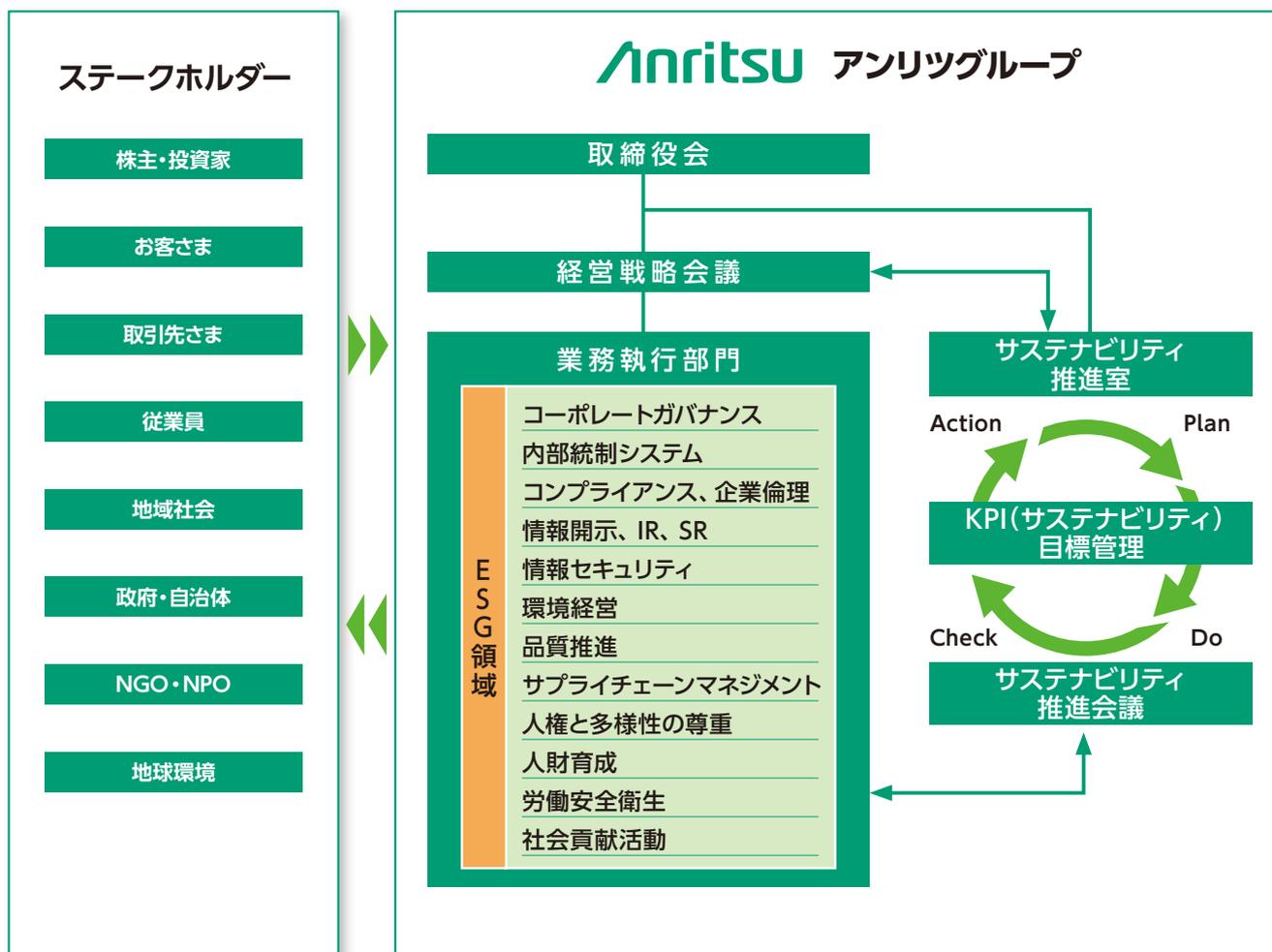
サステナビリティ マネジメント

アンリツは、これまで、経営理念、経営ビジョンおよび経営方針に基づき、CSR活動を積極的に展開してまいりました。CSR活動の羅針盤となったものが、到達すべき目標として掲げた「CSR達成像」です。このたび、そのCSR達成像を発展させて、さらに“持続可能な社会”への貢献をより明確にした「サステナビリティ方針」を新たに制定しました。

同時に立ち上げたサステナビリティ推進室は、事業部門、ESG各領域の主幹部部門のメンバーで構成された「サステナビリティ推進会議」とともに、アンリツグループのサステナビリティ活動を推進してまいります。

サステナビリティ推進活動は、取締役会および経営戦略会議の企業価値向上方針に基づいた、新中期経営計画GLP2020目標(P9に掲載)に対するPDCA活動として展開します。また、事業を通じて解決する社会課題と合わせて設定したESG重要課題は、客観性と網羅性を担保するために、ステークホルダーごとの社会的な要請項目をもとに、社内関係部門と協働してレビューした上で、重要項目として抽出し、優先順位付けを行いました。

サステナビリティ推進体制



経営理念
経営ビジョン
経営方針

サステナビリティ方針

私たちは「誠と和と意欲」をもってグローバル社会のサステナビリティに貢献することを通じて、企業価値の向上を目指します

- 1 長期ビジョンのもと事業活動を通じて、安全・安心で快適な社会構築に貢献します
- 2 誠実な企業活動を通じて、グローバル経済社会との調和を実践します
- 3 人と自然が共存する環境経営を推進して地球環境保護に貢献します
- 4 すべてのステークホルダーとのコミュニケーションを推進して、強固なパートナーシップを構築します

GLP2020

主な財務目標

◆ 売上高	◆ 営業利益	◆ ROE	◆ ACE
1,050 億円	145 億円	12%	50 億円

1 事業を通じて解決する社会課題

安全・安心なインフラを整備し、持続可能な社会の建設につながる産業の構造とイノベーションの促進に貢献する

◆ 計測事業

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

◆ PQA 事業

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

2 気候変動に具体的な対策を

12 つくる責任 つかう責任

ESG 重要課題

2 グローバル経済社会との調和

多様な人材とともに、個々人が成長し働きがいのある職場づくりに貢献する

- ・ 人権と多様性の尊重
- ・ 人財育成
- ・ 労働安全衛生
- ・ 人権に配慮した SCM

8 働きがいも経済成長も

3 すべての人に健康と福祉を

5 ジェンダー平等を実現しよう

3 地球環境保護の推進

持続可能な消費と生産の企業活動で持続可能な社会づくりに貢献する

- ・ CO₂排出量(エネルギー使用量)・水使用量の削減
- ・ 高品質で環境に配慮した製品の開発・製造
- ・ 環境負荷を低減する SCM

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

4 コミュニケーションの推進による共有価値の創造

すべてのステークホルダーと協働して共有価値の創造に貢献する

- ・ ステークホルダーへの情報提供とコミュニケーション
- ・ コンプライアンスの定着
- ・ リスクマネジメントの推進

17 パートナーシップで目標を達成しよう

16 平和と公正をすべての人に